

平成30年度鳥獣対策優良活動表彰
受賞者の概要

北陸農政局長賞

くりすなみ
栗住波自治会

(福井県吉田郡永平寺町)

集落ぐるみで見回り点検や効果的な電気柵設置の推進で鳥獣被害を防止した取組

主な取組

- ・ 栗住波自治会では、平成22年にイノシシによる水稻被害を契機に、被害対策アドバイザーや普及指導員の指導を受け、電気柵の効果的な設置箇所について検討を重ね、平成26年度に山ぎわの農地から奥に入った場所に集落住民による直営施工により電気柵ならびに管理用道路を施工。
- ・ 山ぎわの農地から奥に入った場所に電気柵の管理道を整備して、柵の共同管理を行う手法は、有害獣に対する防衛線を農地の境界から山側に追い上げる効果が高く優良事例となる。
- ・ 取組の結果、本集落では平成22年の水稻被害以降、農作物被害の発生はない。
- ・ 本集落が実践する、電気柵を山ぎわに設置した集落ぐるみによる鳥獣害対策は、高い評価を受け、先進事例として取り上げられ町外からの現場視察の依頼もある。